

平成28年5月23日

生徒総会講評

講評の前に、熊本地震への義援金、よく10万円も集めました。高橋先生からお話があったとおり、先週の火曜日、教頭先生が山陽新聞社に持って行ってくださいました。中学校で10万円も集める学校はないと思います。伊里体育祭で地域の方々、PTA総会では保護者の方々から御協力いただきましたが、集めたのは皆さんです。本当に素晴らしいと思います。

熊本地震の避難所の取材記事が新聞に載っていました。訪問した記者に、小学生ぐらいの子がいきなり「くそばばあ。」と声を掛け、別の子はわざとぶつかってきて口を荒らしたそうです。「避難所は人がたくさんいるからイライラする。」と言いながら、家に帰ると地震の日の記憶が蘇って泣くのが止まらない。そんな記事でした。

皆さんが一生懸命に集めた10万円、辛い思いをしている熊本の人たちが、少しでも早く落ち着いた生活に戻れるよう、役に立てていただけたらと願うばかりです。

さて、生徒総会、今年も活発な意見のやり取りがなされ、とても充実した1時間になりました。生徒会執行部、専門委員長、部長、そして各学級の学級委員もお疲れ様でした。各部や委員会の活動を頑張れたかどうか、目標を達成できたかどうか、別れが名残惜しい学級になれたかどうか、それらは、全て次の選挙、部活動の引退、学級を解散する時に分かることです。最後にしっかり笑えるよう、頑張っていきましょう。

それから、伊里中学校に来て、すごいなあと思ったことの一つに実行委員会があります。今年の3年生も、実行委員を中心にして、平和学習等、素晴らしい修学旅行を行ってきました。1年生の閑谷研修、2年生の神戸研修も素晴らしい旅行だったと聞いています。今は、体育会の実行委員が活躍してくれていますね。

生徒が、生徒の手で、生徒のために活動する伊里中学校、そんな学校を先生たちも目指しています。どうか、生徒会執行部を中心にみんなでそんな学校を目指して頑張っていってください。